

地区懇談会

この懇談会は、行政と市民が一体となった協働のまちづくりを進めるため、直接市民の皆さまからの意見・提言などをお伺いし、市政に反映させるためのものです。

各地区でさまざまな意見・要望等があげられましたので一部を掲載させていただきます。



1/26 北浦 1/27 玉造 2/2 麻生

行方市の教育方針について

問 未来を担う子ども達の学力向上を目指すにあたり具体的な市の方針を教えてください。

答 学力向上を目指す体制づくりとして小中一貫教育を検討しています。小学校6年間、中学校3年間という既存のシステムにこだわらず、弾力的な編成カリキュラムを進めていきます。全体的な市の教育目標は共通認識として掲げていますが、そのほかに各地区で重点目標を設定し、学力の向上を目指すものです。例えば6、3年という現在の方式ではなく3、3、3というような方式の中で小学生の段階から英語教育を実践する等の取り組みも想定しています。それには中学校の先生が小学校で指導をする等の教員間の交流が前提となつてきます。できるところから始めていき、課題を検証しながら本格実施に向けて努力していきたいと思えます。



玉造地区

市の人口流出について

問 市内の若者が「市内に企業がない」とか、「就職先がない」などの理由から市外へ出て行ってしまふことに対しての市の対策を教えてください。

答 若者の人口流出ということで、都会に行ったまま地元に戻らないということについては様々な要因があると思います。その中でも就労場所の不足が一番の課題です。若者が進学し、素晴らしい能力を習得しても、地元雇用がないことから能力を活かす場所がないのです。市においてもこの問題については十分認識しており、若者たちが働ける雇用の場所を確保するべく、地元企業の雇用拡大や企業誘致に積極的に取り組んでいます。また、無料職業紹介所では近隣市町村や鹿島臨海工業地帯での採用促進活動を実施しています。今後、行方市を住む場所として選んでもらえるような環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。



北浦地区

市の運行する乗合タクシーについて

問 事前に予約をして利用するということですが、病院等から帰宅する際には利用できないのですか。

答 予約によって病院からの送迎等にも対応しています。もし、診察時間等の都合で時間が変更になった場合には予約時間の1時間前に連絡をいただければ変更も可能ですのでぜひご利用ください。



廃校後の学校施設について

問 統廃合後の今までの施設についての整備計画について進捗状況を教えてください。

答 小中学校は、本市の貴重な財産であり、各地域の心のよりどころとして、あるいは身近な公共施設として地域コミュニティの創造の場所として貴重な役割を担ってきました。跡地については、全市的な視点により、耐震や市有地の状況を踏まえ、行方市学校跡地活用方針庁内検討委員会を設置しまして、望ましい活用の方角性について、基本的な方針をまとめてきました。耐震・耐力のない学校施設については、売却による有効活用を目指します。ただし、社会体育施設を補完する必要がある場合には、必要に応じ、平成27年度までの期間の範囲で一部を利用する予定です。また、被災した危険な学校施設及び借り上げ地にある学校施設等については、速やかに解体撤去及び借り上げている土地については、返還を予定しています。

耐震・耐力度のある学校施設として、津澄小、大和第三小等がありますが、学校施設以外の使用目的とし

て利活用を図る予定です。産業振興並びに地域の福祉向上と地域活性化を図るため、利用に供する、との方針を定めて進んでいる状況です。

麻生地区

なめがた地域総合病院について

問 糖尿病患者が多いのに、現在専門の医師がいない状況です。医師不足が深刻なので解決してほしいです。

答 なめがた地域総合病院の医師不足については深刻な問題として認識しています。これは近隣の総合病院にも共通する問題です。生活環境等が整わない等が原因とする指摘もありますが、行方市よりも環境の整っている市でも同じ状況です。近隣市町村と連携しながら医師の確保を話し合う協議会を開催しています。市民の皆さんの意見を聞きながら要望活動を行い医師不足解消に向けて努力していききたいと考えています。それとともに、自分の健康は、自分でつくるのが重要であり、なるべく病院にかからないよう、健康づくりのまちづくり施策にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

道路整備の要望について

問 市内で300カ所の要望があり、今年度は52カ所で道路整備を行っているとのことですが、今後の見通しについて教えてください。

答 道路整備における今年度の予算は14億円です。この金額では58カ所が限度かと考えています。学校統合における校舎等の整備が平成27年度で終了するので、現時点では、それ以降の事業費は増額が見込めるのではないかと考えています。地元からの要望が出ている場所については道路整備計画に基づいて随時、整備を行っていく予定ですのでご理解いただきたいと思えます。



麻生地区懇談会の様子



伊藤市長

今年度は市の重要施策（乗合タクシー利用状況、はつらつ市民活動交流事業、行方市の台所事情、健康づくりの推進、道路整備計画、6次産業の推進、学校等適正配置計画）を説明させていただき、意見を伺ったほか、それ以外にも貴重なご意見を多数いただくことができました。今回の懇談会の内容を市政に反映するべく努力して参ります。

限られた財源を最大限に生かし、市民ひとりひとりが幸せを実感できるような行方市を皆さんとともにつくっていききたいと思えますので今後もご意見をお寄せください。